



広い羽田空港内でも非常に音声クリア 重要な会話もスムーズに

株式会社JALスカイでは、羽田空港・成田空港でのグランドスタッフ間のコミュニケーションと情報共有にBuddycomを活用しています。カウンターやロビー、保安検査場、搭乗口、そしてオフィスに在席するコントローラーから現場スタッフへの指示など、さまざまな場面で使用しています。

Buddycom導入前は他社製の通信アプリを使用していましたが、付属マイクが有線タイプだったため、スタッフが保安検査場を通過する際に付け外しをせざるを得ず、時間のロスと手間がかかることが課題でした。

Buddycom導入にあたっては、Bluetoothタイプのマイクを提案してもらえたことが大きな決め手となりました。**担当者の誠実な対応とフォローアップ体制**も採用の後押しとなりました。

イヤホンがBluetoothになったことでコードの絡まりや付け外し作業がなくなり、**保安検査場の通過がスムーズになってスタッフのストレスが軽減**。コミュニケーションツールをBuddycomに集約することで、スタッフが身につける機器も減らしました。広い羽田空港内でも音声は非常にクリアで、重要な会話もスムーズに行え、大きなトラブルなく運用できています。



1分1秒が大事な業務において非常に有効 Bluetoothイヤホンマイクで快適・衛生的に

主な使用機能



1分1秒が大事な業務でリアルタイムに連携

羽田空港国内線だけでも、広い空港内で1シフトおよそ200名近いスタッフが働いており、スタッフ同士のコミュニケーションや情報共有に活用しています。グループ一斉に話しかけても遅延なく声が届くため、1分1秒が大事な業務で非常に有効です。離れた複数の保安検査場の混雑状況を共有し、空いている検査場へお客さまを誘導するといった連携も可能になりました。

耳が痛くならず、 イヤホン部分を交換できて衛生的

専用のBluetoothイヤホンマイクはマイク本体が胸元にあるため耳への負担が軽く、耳が痛くなりません。連続通話で20時間のバッテリーを備え、長時間業務でも問題なく使用できます。イヤホン部分は交換できるため、使用者ごとに付け替えられ、衛生面でも安心して利用できます。スタッフが持つiPad1台に集約できる点も便利です。



導入前の課題

- 他社製の通信アプリを使用しており、付属マイクが有線タイプだった
- 保安検査場を通過するたびにマイクを付け外しする必要があり、時間のロスと手間が生じていた
- スタッフが身につける機器が多かった

導入検討中の方へメッセージ



iPhone/iPadなどの端末だけで簡単に始めることができ、いろいろな場所で活用できると思いますので、ぜひ多くの方にBuddycomを知って、お試しいただきたいです。



iPhone/iPadなどの端末以外に特別な装備が要らないこと、そして先進的な機能が続々と開発される点も含めて、ユーザーの環境に応じているいろいろな使い方ができる点がおすすめです。



株式会社サイエンスアーツ

東証グロース:4412

www.buddycom.net